

令和3年度 国語科「国語表現（3単位）」シラバス

- 科目・単位・履修学年・区分
国語表現・3単位・3年・文型選択
- 使用教科書・副教材等
教科書：国語表現 改訂版（大修館書店）
副教材：①小論文チャレンジノート特化型（要約編）、②小論文チャレンジノート特化型（志望理由・自己PR編）（第一学習）
- 教科目標
国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き言語文化に対する関心を深め、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
- 授業方法・形態
 - ① 選択授業
 - ② 教科書および副読本、新聞記事や評論教材等を適宜使い、講義形式で行う。
 - ③ 「書く」作業や発表を中心とした表現活動に取り組む。
 - ④ 教科書を用いながら、副教材や新聞などを取り入れ、理解力・表現力を伸ばしていく。
- 評価方法
文章表現力、言語による発表力を中心に評価し、定期考査、国語表現力小テストを適宜行い加味する。
- 評価の観点

a 関心・意欲・態度	国語に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現するとともに、伝え合おうとする。
b 話す・聞く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。
c 書く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。
d 知識・理解	表現と理解に役立てるための音声・表記・語句・漢字等を理解し、知識を理解している。

7. 授業計画（90時間）

学期	月	教科書単元名	教科書教材名	領域(時間)			主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点					評価方法等		
				A (話すこと・ 聞くこと)	B (書くこと)	C (読むこと)		関心・ 意欲・ 態度	話す・ 聞く能力	書く能力	読む能力	知識・ 理解			
一学期	4月	1 書いて伝える	1 整った文を書く		2		・主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。	○		◎			◎	・ワークシート ・小テスト	
			2 わかりやすい文を書く		2		・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	○		◎			◎	・ワークシート ・小テスト	
			3 文のつながり方		2		・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。	○		◎			◎	・ワークシート ・小テスト	
	5月	2 小論文・レポート入門	1 小論文とは何か		3		・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	○		◎			◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト	
			2 反論を想定して書く		4		・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	○		◎			◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト	
			3 資料を読み取って書く		6		・文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ・資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。	○		◎	○		◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト	
			4 発想を広げて書く		4		・発想を広げるための方法を理解する。 ・発想を広げるための方法を活用して、小論文を書く。	○		◎			○	・ワークシート ・作品 ・小テスト	
	6月	3 自己PRと面接	1 自分を見つめて		2		・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	○	○	○				◎	・観察 ・相互評価、自己評価
			2 効果的な自己PR		3		・自分の特長を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作る。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	○	○	◎				◎	・観察 ・ワークシート ・作品 ・発表 ・相互評価、自己評価
			3 将来の自分を考えよう		2		・就きたい職業に就くために必要なことを調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	○	◎	◎	○	○		◎	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
			◆定期テスト												
	7月	3 自己PRと面接	3 将来の自分を考えよう		4		・就きたい職業に就くために必要なことを調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	○	◎	◎	○	○		◎	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価

二 学 期	9 月	3 自己PRと面接	4 志望動機をまとめよう	3	・志望先について十分な情報を集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。	○	○	◎	○	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・発表 ・相互評価、自己評価	
		6 会話・議論・発表	1 相手や場面に応じた会話	2	・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	○	◎			○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価	
		3 自己PRと面接	5 面接にチャレンジ	2	・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的に説得力のある答え方を考える。	○	◎			○	・観察 ・相互評価、自己評価	
		6 会話・議論・発表	2 議論して結論を出す	3	・司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力しながら話し合いをする。 ・話し合いに積極的に参加し、結論を出すために貢献する。	○	◎			○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価	
	3 プレゼンテーションの工夫		4	・視覚的資料を用いながら、効果的なプレゼンテーションをする。	○	◎	○		◎	・観察 ・ワークシート ・発表 ・相互評価、自己評価		
	10 月	4 メディアを駆使する	1 通信文を書き分ける		3	・さまざまな通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。	○		◎		◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト
			2 電話を使いこなす		2	・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 ・相手に応じた適切な言葉遣いや対応のしかたを理解する。	○	◎			◎	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価 ・小テスト
			3 ネット社会とコミュニケーション		2	・ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点を理解する。 ・電子メールを活用する上でのエチケットを理解する。	○		◎	○	◎	・作品 ・ワークシート ・小テスト
			4 メディアと情報		2	・情報が編集されたものであることを理解する。 ・メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解する。	○			○	◎	・作品 ・ワークシート ・小テスト
	11 月	(第2部)	12 開廷！模擬裁判		4	・模擬裁判において、根拠をふまえて自分の意見を述べたり、議論を重ねて結論を導いたりする。	○	◎		◎	◎	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
			10 演説合戦にチャレンジ		4	・賛成か反対かを明確にし、聞き手を説得できるように、筋道を立てて話す。 ・意見の根拠に注意し、説得力があるかどうかを考えながら聞く。	○	◎	○	○	○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
	12 月	2 小論文・レポート入門	5 レポートを書く		4	・レポートの基本的な書き方を理解する。 ・客観的な根拠を集めて、説得力のあるレポートをまとめる。	○		◎		○	・ワークシート ・作品 ・小テスト ・定期テスト
			6 論文を書くために		2	・論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。 ・引用の方法、参考文献や注の示し方を理解する。	○		◎		○	・ワークシート ・作品 ・小テスト
		(第2部)	2 詩歌を楽しむ		3	・さまざまな詩歌を読み、味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・さまざまな詩歌の鑑賞をふまえて、表現を工夫しながら詩を創作する。	○	○	◎	◎	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
			1 言葉で遊ぶ		3	・さまざまな言葉遊びを知り、おもしろさを味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・言葉遊びの仕組みやおもしろさを理解し、オリジナルの作品を作る。	○	○	◎	○	◎	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
	三 学 期	1 月 (第2部)	7 「私の虫類図譜」を作ろう		3	・『虫類図譜』を手本にして、想像を広げ、風刺を効かせた文章を書く。 ・イラストと文章を合わせて、魅力的な作品になるように工夫する。	○		◎	○	○	・観察 ・作品 ・相互評価、自己評価
8 エッセイを書こう				3	・着眼点、構成、文体、表現などに留意しながら、さまざまなエッセイを読み、味わう。 ・読んだエッセイを参考にして、効果的な表現を工夫しながら自分でエッセイを書く。	○		◎	○	○	・作品 ・相互評価、自己評価	
9 パロディー物語を書こう				3	・「吾輩は猫である」のパロディー物語を読み、表現上の工夫を理解する。 ・著名な小説の表現上の特徴をまねて、パロディー物語を書く。	○		◎	◎	○	・作品 ・相互評価、自己評価	
13 劇を作ろう				4	・役割を分担し、自分の役割に応じて効果的な表現になるよう工夫しながら、劇を作り上げる。	○	◎	◎	◎	○	・観察 ・相互評価、自己評価	
2 月												
3 月												
				40	50							